

オピニオン

自然な死を受け入れるために

医師 神谷 仁孝

(愛知県 41)

「終末期医療の選択 家族と話を」(17日)を読み、考えさせられました。肺炎で入院した父親の治療に関して無理な延命は希望しないと回答したところ、蘇生しないことを意味する

DNR (Do Not Resuscitate) の指示が出て、納得いく医療が受けられず心を痛めたとのことです。

私も病院勤務の頃、DNRを指示すると人間の尊厳が奪われてしまう感覚がありました。最近では自然な死を受け入れることを意味するAND (Allow Natural Death) を使いまし

ようという提言もあります。私は開業医として在宅医療に取り組んでいます。患者さんやご家族が望めば最期まで自宅で診させていただきますが、そのような時は徐々に看護師ら多職種チーム内でANDの空気ができていくのを感じます。

病院勤務の頃、患者さんが亡くなられると敗北感からご家族にかける言葉がみつきりませんでした。しかし自宅での看取りでは「たくさんのご家族が会いに来てくれてよかったですね」と声をかけられます。私自身も救われる思いです。医療者の間でANDの実践が広がれば、救われる方が増えると思います。